

諏訪第一町会 事例紹介

女性部の活動のヒント

区域

川崎市高津区諏訪1丁目の一部・2・3丁目

加入世帯

約1,700世帯

問合せ

高津区役所地域振興課 044-861-3144



諏訪第一町会女性部による花の苗に係る取組の様子

諏訪第一町会の活動事例

女性部の活動 のヒントに

「女性部の活動を見直したい」

町内会・自治会活動の代表例であるバス旅行。地域住民の親睦を深め、普段の活動では生まれにくい深い繋がりを作るきっかけづくりになります。

諏訪第一町会女性部では、長い間「日帰り旅行」を実施していましたが、時代の変化、ライフスタイルの多様化により年々参加希望者が少なくなり、女性部の負担は大きくなっていました。

そこで、旅行を楽しみにしている方がいらっしゃるのも事実でしたが、町会の方に厳しい現状を説明することで理解いただき「日帰り旅行」の中止を決断。

このことから、バス旅行の代わりに、女性部の活動として、数年前から実施している花の苗を配布する取組を推進していくことに。

参加者も年を追うごとに増え、地域の交流活動の一助になるとともに、花の苗を植えてもらうことにより結果として地域の環境美化や体を動かす機会にもなっています。

実際に配布された
「花の苗」



女性部の活動ってみんな何をやっているの？

町会を取り巻く状況は大きく変化

ライフスタイルや時代の変化に伴い、年々参加者が減少している活動も少なくない

現状を分析し、女性部の活動を見直すことも大切
気軽に楽しんでもらえる活動を目指して

「バス旅行」の休止から「花の苗を配布」による 新たな交流の場を創出へ

背景

- 昔ながらのバス旅行は楽しいけど、年々参加者は減少
- 住民のライフスタイルの変化に合わせた取組の必要性

取組

- 「バス旅行」を中止
- 「花の苗を配布」する取組を通じての交流活動

いまや全世代が働いている令和の時代、時代に合わなくなってきた活動も

これまでの活動を継承することは大切、でも負担軽減を図るためには見直しを検討することも大事

01

「見直しのきっかけ」

女性部の負担

長年に渡り開催していた女性部主催の日帰りバス旅行。しかし、ここ数年は参加者を集めるのも一苦勞。ライフスタイルの変化やレクリエーションの多様化など、様々な要因によって参加希望者が少なくなっているためにこちらからお願いをして参加をしていただくことも。

参加者を集めるのも、バスをチャーターするのも一苦勞、負担感は年々増加していき、女性部役員の交代をきっかけに中止の提案を検討することに。

中止を提案

バス旅行は、親睦を深めるいいきっかけにもなり、毎回楽しみにしている方がいるのも事実。

中止の判断が難しい状況であったが、女性部としては、時代の変化に合わせた活動をした方が良いのではないかと考え、新型コロナウイルス以降の代替わりをきっかけに思い切って中止を相談。

年々参加者が減少していることや費用面での負担も増えている事実を数字で示して伝えることで納得してもらうことができた。

02

「活動の工夫と波及効果」

花の苗の取組

バス旅行を中止とした代わりに、数年前から取り組んでいる花の苗を配布する取組を拡充することで、新たな交流機会の場の創出を目指す。

毎年11月の第1土曜日、町内会館（氏子会館）において、花の苗をプレゼントすることを町会の回覧等により周知。農園の方に協力してもらい、女性会員限定に花の苗を配布。年に一度の取組は少しずつ地域に浸透していき、花の苗の配布をきっかけに会話が生まれ、新たな交流の場に。

取組の効果

本取組が浸透するにつれて、一部の方の参加であったものから、幅広い年代、多くの方が参加していただけるように。

余った花の苗は、町内会館に来られない高齢者やご近所に取組内容を紹介しながら配布することで活動の輪を広げていく。

また、玄関先に植えていただくことで、地域の環境美化や体を動かす機会を作ることにも繋がるといった思わぬ波及効果も生まれている。

03

「その他活動にも活用」

防災訓練

諏訪神社で開催している諏訪第一町会主催の防災訓練。各ブースには、「水消火器体験」や「AED体験」など防災意識を高める催し物がたくさんある中で、女性部の取組で好評な花の苗を各ブースに設けたスタンプラリーの参加賞として配布をすることに。

花の苗の配布をすることをきっかけにして、若い世代や子どもの防災訓練への参加促進にも繋がっている。

防災訓練のチラシ

